

報道関係各位 企画展のご案内



2022年
1月16日(日)
6月6日(月)

開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
休館日／毎週火曜日、2月14日(月)、2月24日(木)、5月6日(金)
※5月3日(火・祝)は開館
観覧料／一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円
※()内は20人以上の団体料金。全額戻額観覧券で常設展もご覧いただけます。
※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。
主催／高志の国文学館 共催／北日本新聞社、チューリップテレビ

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA, WITH US

高志の国
文学館
KOSHINOKUNI
Museum of Literature

展覧会チラシ

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 谷口・高瀬・綿引
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

Summary

明治、大正、昭和から現代にいたるまで、富山ではさまざまな個性を持った女性作家たちがユニークな女性文学史を形成してきました。本展は会期を第1期・第2期に分け、富山の女性作家たちが作りあげてきた豊かな文学世界を紹介します。

第1期「時代を切り開く」では、女性の社会進出が十分に進んでいなかった明治・大正・昭和初期の時代から、富山の女性文学発展の礎を築く先駆的な活躍をした作家たちを取りあげます。

第2期「多彩な活動の展開」では、昭和・平成を中心に幅広いジャンルの作品を発表し、富山の文学界を牽引してきた女性作家たちを取りあげます。

本展を通じて、ふるさとの風土を背景に、自分らしく生きるために歌い、書き続けた女性作家たちの活躍に改めて光をあて、彼女たちが描き出した個性的な作品世界へといざなう機会となれば幸いです。

《第1期に紹介する主な作家》小寺菊子、富本一枝、澤田はぎ女、方等みゆき

《第2期に紹介する主な作家》野村玉枝、遠藤和子、辺見じゅん、木崎さと子

あわせて回廊コーナーでは、「今をはばたく富山の女性作家たち」と題して、新たな作品世界を生み出し続けているゆかりの作家たちについても紹介します。

Profile

個性きらめく富山の女性作家たち展

第1期 時代を切り開く

小寺菊子（こでら・きくこ） 小説家

上新川郡富山旅籠町（現富山市）生まれ。明治12年—昭和31年（1879—1956）

富本一枝（とみもと・かずえ） 画家、小説家、評論家

富山市越前町生まれ。明治26年—昭和41年（1893—1966）

澤田はぎ女（さわだ・はぎじょ） 俳人

西砺波郡西五位村三日市（現高岡市福岡町）生まれ。明治23年—昭和57年（1890—1982）

方等みゆき（ほうとう・みゆき） 詩人

射水郡新湊町（現射水市）生まれ。明治29年—昭和33年（1896—1958）

*第2期 多彩な活動の展開—野村玉枝、遠藤和子、辺見じゅん、木崎さと子
については別途ご案内の作成を予定しています。

Outline

展覧会名	個性きらめく富山の女性作家たち 展
会 期	2022年（令和4）1月16日（日）～6月6日（月） 第1期 1月16日（日）～3月21日（月・祝） 第2期 3月30日（水）～6月6日（月）
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490 https://www.koshibun.jp/
開館時間	9：30～18：00（観覧受付は17：30まで）
休 館 日	毎週火曜日、2月14日（月）、2月24日（木）、5月6日（金） ※5月3日（火・祝）は開館
観 覧 料	一般400円（320円）、大学生200円（160円）、一般前売り320円 ※（ ）内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は無料
主 催	高志の国文学館 共 催 北日本新聞社、チューリップテレビ
展覧会担当	高志の国文学館事業課 主任（学芸員） 綿引 香織（わたひき・かおり）

Theme

個性きらめく富山の女性作家たち展 第1期 時代を切り開く

富山県の女性文学の礎を築いた4人の作家たち —困難と闘い、悩みながら書いた 明治から昭和初期に活躍した女性作家たち

第1章 新しい女性の生き方を模索する —小寺菊子、富本一枝

こでらきくこ
小寺菊子 富山の女性職業作家のパイオニア
とみもとかずえ
富本一枝 女性と子どものための信念を貫く

第2章 詩歌に新しい風をもたらす —澤田はぎ女、方等みゆき

さわだ はぎじょ
澤田はぎ女 明治期に彗星のごとく現れた女性俳人
ほうとう
方等みゆき 富山に女性詩の黎明を告げた詩人

回廊コーナー展示

第1期「今をはばたく富山の女性作家たち」と題して、詩の池田瑛子、尾山景子、小坂淑子、三谷風子、皆元三和子、短歌の石垣美喜子、畠山満喜子、仲井真理子、平岡和代、山口桂子、俳句の片桐久恵、川上弥生、川井城子、野中多佳子の新たな作品世界を生みだし続けている、活躍中の韻文作家たちを紹介します。

Topics

- 1 はじめての富山県ゆかりの女性作家展を開催。
「個性きらめく富山の女性作家たち展」と題して、第1期「時代を切り開く—小寺菊子、富本一枝、澤田はぎ女、方等みゆき」、第2期「多彩な活動の展開—野村玉枝、遠藤和子、辺見じゅん、木崎さと子」の2期に分けて、時代に先駆けて文学の各分野を切り開いた富山県ゆかりの女性作家たちを紹介する初の企画展を開催します。このリリースでは、第1期について記し、第2期は別途作成を予定しています。
- 2 困難と闘い、悩みながら執筆を続けた作家たちの素顔とその業績に迫る。
時代状況や家庭環境などさまざまな困難と闘い、悩みながら執筆した当時の女性作家たちの人生を知り、作品に直に触れていただく展示をめざしました。手に取って読むことのできる作品が少ない作家も多いため、作品を鑑賞していただけるよう作品の引用文（抜粋）を掲げました。また、活躍にふさわしい評価と顕彰のために執筆の軌跡をたどる詳細な年譜を作成しました。
- 3 初公開を含む資料約 230 点を展示。
小寺菊子原稿「楽屋口」及び自筆の履歴書、富本一枝の「弹琴」（絵画）及び書簡、澤田はぎ女短冊「そなさんと」、はぎ女宛の著名俳人たちからの書簡、方等みゆき宛の著名詩人からの書簡などの自筆資料ほか、資料約 230 点を展示します。資料の中には、小寺菊子が師事した徳田秋声による書簡、富本一枝が富本憲吉（陶芸家）と結婚する際に身に着けた振袖などの初公開資料、富本一枝の初期の絵画作品、澤田はぎ女の自筆の画帳や句軸、方等みゆきの『女人詩』と詩集『しんでれら』などの貴重な資料も数多く含まれています。
- 4 最新の調査研究をふまえて、富山県ゆかりの女性作家たちの活動を紹介。
これまで十分に研究が進んでいるとはいえなかった女性作家たちの活躍に改めてスポットをあて、現在わかっている最新の情報を基に展示を構成しました。
- 5 回廊コーナー（導入部分）では、「今をはばたく富山の女性作家たち」を紹介。
第1期は詩の池田瑛子、尾山景子、短歌の石垣美喜子、畠山満喜子、俳句の片桐久恵、川上弥生ほか、活躍中の韻文作家を紹介します。

Events

新型コロナウイルスの感染状況によっては、定員の変更、延期、中止の可能性があります。

【第1期】

(1) 講演「負けない女・尾竹一枝と小寺菊子—「私は私を生きる」、新しい女の先駆者—」

[講師] 渡邊澄子氏 (大東文化大学名誉教授)

[日時] 1月30日(日) 14:00~15:30

[会場] 当館研修室 101

申込必要/参加無料 ◎定員 54名

(2) 書道パフォーマンス

[テーマ] 方等みゆきの詩

[出演] 県立呉羽高等学校書道部

[日時] 1月23日(日) 13:30~14:30

[会場] 教育文化会館集会室

申込必要/参加無料 ※申込終了

(3) 作品朗読会(「朗読と音楽の夕べ」連携企画)

[作品] 遠藤和子「オロロのいる村」

[出演] 朗読: 西美香(チューリップテレビ) / 演奏: 丸山美由紀(ピアノ)

[日時] 3月5日(日) 18:00~18:50

[会場] 当館 ライブラリーコーナー

申込必要/参加無料 ※申込終了

(4) 担当学芸員による展示解説(スライド・ビュー)

[日時] 1月29日(土)、2月19日(土)、3月12日(土)
各回 14:00~(30分程度)

[会場] 当館研修室 101

■申込方法

電話・FAXにて、イベント名(複数可)と氏名、電話番号を当館までお知らせください。

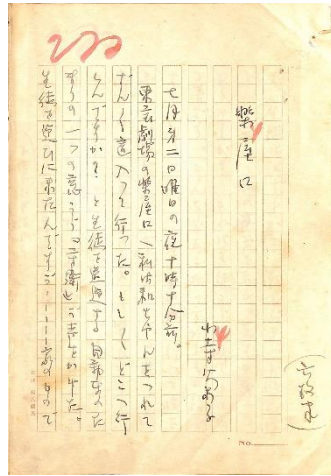
※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでお申し込みの方には、定員に達してご参加いただけない場合のみ、当館からご連絡いたします。

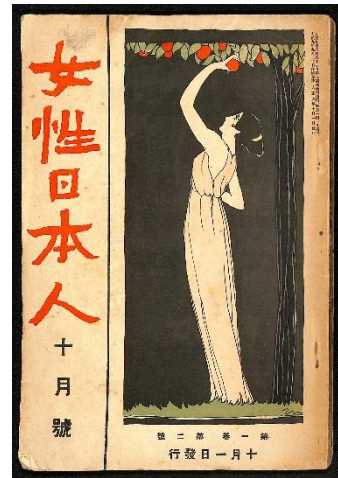
Images



1 展覧会チラシ



2 小寺菊子原稿「楽屋口」
高志の国文学館蔵



3 「女性日本人第1巻第2号」
富本一枝「私達の生活」掲載
高志の国文学館蔵



4 澤田はぎ女短冊「そなさんと」
高志の国文学館蔵



5 「女人詩」創刊号 1931年
方等みゆき主宰の詩誌
世田谷文学館蔵

高志の国文学館企画展

「個性きらめく富山の女性作家たち 展」
広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行

FAX 076-431-5490

E-mail akoshinokuni@pref.toyama.lg.jp

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像のトリミングや、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎所蔵者名を明記してください。
- ◎インターネット上で掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

画像 1 展覧会チラシ画像 2 小寺菊子原稿「楽屋口」高志の国文学館蔵 **高志の国文学館蔵**画像 3 「女性日本人第1巻第2号」富本一枝「私達の生活」掲載**高志の国文学館蔵**画像 4 澤田はぎ女短冊「そなさんと」**高志の国文学館蔵**画像 5 「女人詩」創刊号 1931年 方等みゆき主宰の詩誌 **世田谷文学館蔵**

◎画像2～5をご使用の際は、それぞれの所蔵者名または著作権者名が分かるように、
赤字でお示しした部分を必ず明記願います。